



実りの秋!!

～5年生が地域の方々と稲刈りをしました～

澄み渡る秋空のもと、10月7日(水)に、5年生が学校近くの田んぼで稲刈り体験を行いました。この活動は、地域の青木さんをはじめとする農家の皆様にご協力いただき、毎年実施しているものです。

春に自分たちで植えた苗が、夏の日差しを浴びて黄金色の稲穂に成長した様子に、こどもたちは「すごい!」「たくさんできて!」と歓声をあげていました。

刈り取った稲は、自然乾燥させ、その後、機械でも乾燥させ、水分含有量を15%前後まで下げたら脱穀します。その様子を青木さんのご自宅で見せていただきました。この時は、まだ粳米(もみごめ:「もみがら」に包まれたお米)なので、その粳米も触らせていただきました。

その次に、田んぼの出かけていき、地域の方から鎌(かま)の安全な使い方や稲の刈り方を教えていただきました。初めは慣れない手つきでおそろおそろ鎌を動かしていましたが、次第にコツをつかみ、「ザクツ、ザクツ」とリズムカルな音を響かせながら、一生懸命に稲を刈り進めていきました。額に汗を浮かべ、泥に足を取られながらも、友だちと協力して刈り取った稲を運び、束ねる作業にも真剣に取り組みました。

こどもたちからは、「一株刈るだけでも大変なのに、広い田んぼ全部をやる農家の人はすごい!」「お米一粒も無駄にできないと思った!」といった感想が聞かれました。

また、ひとりひとりコンバインに乗せていただくという貴重な体験もさせていただきました。

これらの体験を通して、お米が私たちの食卓に届くまでの大変さや、食べ物のありがたさを肌で感じる事ができました。また、地域の方々と交流しながら活動できたことは、こどもたちにとって何より貴重な学びの機会となりました。

ご多忙の中、温かくご指導くださいました地域の皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。収穫したお米は、今後『感謝の会』で、みんなで大切に味わう予定です。





いつも ぼくたち わたしたちの ために
 ありがとうございます

